



地域に根ざした運動を広げ 飛躍の年に

「市民が主人公」の市政へ 力を合わせましょう

① 地域産業振興条例づくり、中小企業支援し、雇用をひろげます

今の市政はまともな産業政策がなく、市役所に直接かかわる職場で非正規雇用をひろげています。地域産業振興条例を制定し、中小企業・業者を支援し、働く場所の拡大に力をつくします。

② 市政に「福祉のこころ」とり戻し、福祉・医療・介護を充実

2度の「事業仕分け」で、紙オムツの支給削減をはじめ福祉はズタズタに。市政に「福祉のこころ」をとりもどし、福祉・医療・介護の充実・拡大をはかり、国民健康保険料の引下げに取り組みます。

③ 万代島ルート線など大型開発のムダ使いをただします

人も車も減っているのに止まらない1500億円の万代島ルート線。新潟駅周辺整備事業で莫大なお金かけても市民の生活がなりたたなければ…。大型開発のムダづかいをただします。

日本共産党

新潟市会報告

2013年1・2月号 第317号【9・12月議会報告】
発行/日本共産党新潟市議会議員団
※「新潟市会報告」は、政務調査費を活用して発行しています。

新潟市中央区学校町通1 市役所内 党議員団控室
電話 025(226)3450 FAX 025(223)7748
ホームページ/http://www.jcp-niigata-shigidan.com



住民バスへの 支援の拡充を



野本孝子議員

現在15路線で運行されている「住民バス」は、地域公共交通を担い、高齢者などの交通弱者の移動の足として重要な役割を果たしています。しかし、市の補助率は上限が7割で、住民主体の運行組織はたいへん苦勞しています。

住民バスの利便性を向上させるために、新年度から土日運行や増便などの社会実験を行うことを約束させることができました。

みなさんの声とどけ 希望ある新潟市へ

誰もが希望もてる新潟市政に—日本共産党議員団は、市民のみなさんの願いにそって昨年1年間、住民運動と議会での質問を結び全力をあげてきました。

各議員が昨年の9月と12月議会に取り上げた質問を中心に報告します。今年も、みなさんの声が生きる市政実現へがんばります。



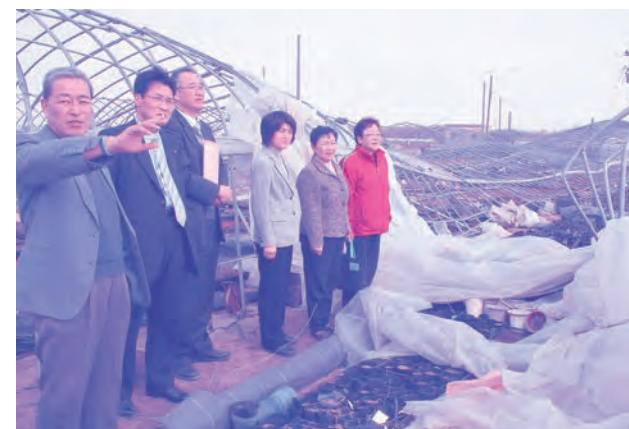
共産党市議団の議会報告会



太夫浜処分場を視察



2013年度予算要望



暴風被害の実態調査

農業はじめ各分野に影響及ぼす TPP参加反対表明求める

TPPへの参加は、農業や医療分野をはじめ、市民生活に大きな影響をおよぼすことを告発。世界的な天候不順、人口増加は食糧安全保障を脅かすことを指摘し、食糧自給率向上こそ日本が進むべき道であり、参加反対を明言すべきと市長に迫りました。また、調整池の適切な管理を求め、地域の要望に沿った管理を約束させました。



風間ルミ子議員

新潟駅周辺整備事業について取り上げ、一問一答で市長の姿勢をたどりました。
また、この間万代島ルート線の大型開発もムダ使いだとしてきました。127億円もかけて駅前につくる「万代広場」の事業費の大半は立地交差によって生まれる土地のJRからの買収費です。こんなことが許されるでしょうか。



五十嵐完二議員

9月議会では、新潟市の地域経済活性化と鳥屋野潟築堤計画、12月議会では教育問題と

大型開発のムダ使いだし
地域経済活性化、教育の充実を
求める



飯塚孝子議員

介護報酬改定は利用者の生活援助時間の短縮と介護報酬削減となりました。その結果、利用者は生活の質の低下を余儀なくされ、事業経営やヘルパーの労働条件に深刻な影響が出ています。「このままでは在宅介護がなりたたなくなる、影響調査の実施を」との私の質問に対して、福祉部長は「来年度から国において次期報酬改定の調査が実施される。本市として現場の声を把握し国に伝える」と答弁しました。

介護報酬改定による
影響調査の実施を

租税等の滞納処分について



小山哲夫議員

「そんな良い服着ているなら、払え」「自宅を売却すれば一括で納付できる」などと人権侵害とも言える強権的な取り立てを行う債権管理課。

12月議会で、「憲法をはじめとする法律違反のこうしたやり方は速やかにやめるべき」という私の質問に対し、財務部長は「大変申し訳ありません」と謝罪し、「今後は、丁寧に相談に応じ、滞納者の個々の状況にあった対応をしていく」と答弁しました。

自校方式の学校給食を 民間委託にするな

9月議会では、「事業仕分け」による、市民サービスの切り捨ては止めるよう質問。12月議会では、「コスト削減」のためと称して、学校給食の自校方式までも民間委託の方針が示されました。2013年度にモデル実施検討、14年度にモデル校実施、15年度以降に拡大推進の計画です。民間委託になれば、人件費の削減はもちろんです。栄養士と調理員と一緒に、子どもたちの給食を作れなくなります。大切な学校給食を守るため頑張ります。



明戸和枝議員

低所得世帯の子どもたちの 学習支援事業の 全区での実施を

貧困の連鎖の防止と子どもたちの居場所づくりを目的に、低所得世帯の子どもたちを対象に学習支援として取り組まれている健全育成事業の全区での実施を要望しました。

市長は「事業の実施により、中学生全員が高校へ進学したほか、家庭での学習時間が増加したなど成果をあげている。課題を整理して拡大を検討する」と答弁しました。



渡辺有子議員

みなさんの声うけてさらにながります

願い実った市道除雪

市道の除雪で市がおこなわない5メートル以下の道路は自治会でおこない、費用も自治会負担がありました。同じ区の中なかでも地域によって対応が違ったり自治会負担も年によっては高額になり大変でした。日本共産党議員団から「市道の除雪は市が責任を」と繰り返し取り上げていただき、全額市が負担することになりました。 江南区 自治会長さん



住宅リフォーム 助成制度で大きな役割

この不況の中で、住宅リフォーム助成制度（健康すまいリフォーム支援事業）ができて、中小・零細建設業者の仕事はグンと増えました。私もこの制度を活用して数件の仕事を行いました。

この制度の実現のため条例提案など大きな役割を果たした日本共産党市議団に感謝しています。

東区 稲村家根屋さん



万代島ルート線「勝負あった」

人口も車も減少していくのに、莫大なお金をかけて栗の木バイパスを2階建てにする高架道路は必要ありません。この問題で日本共産党議員から議会で何回も取り上げていただき、必要性について「後づけとも言える」という答弁を引き出し議場全体が爆笑するなど、「勝負あった」と感じています。

まちを分断し、地域住民の住環境も大きく変える万代島ルート線をこのまま続けさせることは許されません。

栗の木道路対策会 副会長 伊藤善隆さん

人権侵害の取り立て許せない

不況の中で業者のくらしが大変なもと、民商会員の中にも国民健康保険料や市民税、固定資産税が納められず、市の債権管理課から差押え通知が届いた人も出ています。人権を無視した取り立て状況を聞いて、私たちは債権管理課と交渉してきました。日本共産党議員団のみなさんからも交渉に同席してもらったり、議会で取り上げてもらいました。市は謝罪し、改善を約束しました。



わたしたち業者にとって日本共産党議員団は頼りになる存在です。

新潟民主商工会 会長 高橋武昌さん

こまいごと110番

滞納があり「差押え通知がきた」などでお困りの方をはじめ、どんなことでも困りごとがありましたら、各議員にお気軽にご連絡ください。相談に応じています。

北区	風間	ルミ子	090-4099-5726
東区	飯塚	孝子	090-1885-4091
東区	五十嵐	完二	090-4839-8407
中央区	野本	孝子	090-8946-4642
西区	明戸	和枝	090-8021-9844
江南区	渡辺	有子	090-2028-7754
秋葉区	小山	哲夫	090-5787-8052

震災ガレキ問題 — 日本共産党市議団の取組み

●受け入れは市民の理解と合意が前提

災害廃棄物受け入れについて、昨年3月議会で可決された「受け入れに関する決議」に共産党議員団は、被災地支援などを通して、「広域処理は必要」との立場から、「市民の理解と合意」を前提に賛成しました。

●試験焼却の補正予算に反対

その後、大槌町への視察、新潟市が周辺自治会を対象にして開催した住民説明会にも手分けして参加してきました。

その時の状況や、参加者のアンケートに記された意見、市長への手紙や電話を詳細に検討して、「住民の理解が得られた」と

は言えないと判断し、9月議会には試験焼却のための補正予算は提案しないことを市に申し入れるとともに予算には反対しました。

12月議会でも、新田清掃センターや亀田清掃センターでの基準値を超えた鉛や水銀の検出や新津クリーンセンターではいじん濃度が基準値を超えた問題等について市の対応をただしました。



大槌町の震災がれきの状況